

## 解 答

|        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1 (A)  | 2 (C)  | 3 (B)  | 4 (A)  | 5 (D)  | 6 (D)  |
| 7 (D)  | 8 (C)  | 9 (B)  | 10 (C) | 11 (C) | 12 (A) |
| 13 (D) | 14 (C) | 15 (D) | 16 (A) | 17 (B) | 18 (A) |
| 19 (B) | 20 (B) |        |        |        |        |

1. 「タツヤは妻のための夕食を用意できるよう、今日は早くに帰宅した」

▶ 節を続けられるものは、選択肢の中では(A)so thatのみ。

□ **so that S can[will/may] ~ 「～するために/～するように」**

Lock the door **so that** no one **can** get in.

(誰も入れないように、ドアにカギをかけなさい。)

▶ canとwillは口語調、mayは改まった言い方に用いられる。

▶ 口語ではthatが省略されることも多い。 ⇨ so S can[will] ~  
You need to speak up **so** everyone **can** hear you.  
(みんなに聞こえるようにあなたはもっと大きな声で話す必要がある。)

▶ **in order that** ~もほぼ同じ意味で使われるが、so thatよりも堅い表現で、  
in order that節の中ではmayが使われることが多い。

She spoke loudly **in order that** the people in the back **might** hear.

(後ろの人間に聞こえるように、彼女は大きな声で話した。)

□ **as for** ~ 「～について言えば/～に関する限りでは」

□ **as such** 「それ自体では(は)/そういうものとして」

□ **in order to do** 「～するために/～するように」 (= **so as to do**)

2. 「家に帰る途中、中学校からの古い友人に偶然出会った」

▶ **on one's way home** 「帰宅途中で」 この場合のhomeは副詞

cf. **on one's way to** ~ 「～に行く途中で」

□ **run across** ~ 「(人)に偶然出会う/(場所)を走って横切る」

I ran across Tom at the station.

(駅でひょっこりトムに会った。)

3. 「ジョーはほとんどの部分でメアリーと意見が一致した一方で、同意できない点もまだいくつかあった」

▶ agreed ⇔ could not accept という対立関係があるので、「対比」のwhileを選ぶ。

□ **agree with** ~ 「(人)と意見が一致する/(人の意見)に賛成する」

I agree with your opinion about the taxes.

(税金についてのあなたの意見に賛成です。)

▶ agree with ~の「(気候・食べ物などが)～に合う」の意味も頻出。

Oily food does not agree with me.

(油っぽい食べ物は私の体に合わない。)

cf. **agree to** ~ 「(計画・提案など)に同意する」

4. 「ほとんどの日本人は地震を恐れている」

▶ 「most + 複数形」「most of the + 複数形」「almost all + 複数形」「almost all of the + 複数形」のいずれかの形でなくてはならない。

## almost副とmost形・名の使い分け

□ **almost all A = most A** 「(限定されない)ほとんどのA」

□ **almost all (of) the[one's] A = most of the[one's] A** 「(限定された特定の)Aのほとんど」

▶ almostは副詞なので直接名詞を修飾できない。そこでall(形容詞・代名詞)を間にはさんで、almost all A / almost all (of) the[one's] Aなどの形で用いる。

▶ almost all of the[one's] Aの場合、ofが省略されて、almost all the[one's] Aの形になることが多い。

5. 「ありがとう、エイミー。この本はまさに僕が欲しかったものだよ」
- ▶ what I wanted 「私が欲しかったもの」 what=the thing(s) which
  - ▶ whatはその中に先行詞を含んだ特殊な関係代名詞である。what1語でthe thing(s) which 「～すること[もの]」の意味の**名詞節**を導く。what節は名詞の働きをするので、文中で**主語・目的語・補語**になる。
6. 「私の自転車を修理するのに70ドルかかるだろうと言われました」
- ▶ itはto以下を受ける形式主語。cost+人+金額 「人に金額を払わせる」
  - **It costs (+ A) + 費用 + to do** 「(Aが)～するのに(費用が)…かかる」  
*It cost me a lot of money to have my house repainted.*  
 (家のペンキを塗り替えてもらうのにずいぶん費用がかかりました。)
  - ▶ costは「品物 + cost(+人)+費用」の形でも用いられる。  
*The flower cost her three dollars.* (彼女はその花に3ドル払った)
7. 「僕の制服は洗濯が必要なんだけど、洗濯屋に行く時間がないよ」
- ▶ need doing 「～される必要がある」 (=want doing)事実上、受動態の意味になることに注意(= need to be done)。
  - **need doing** 「～される必要がある」 (= need to be done)  
*Those windows need cleaning.*  
 (あれらの窓は掃除する必要がある。)
  - ▶ needの目的語となる動名詞は受動的な意味を持つ。  
*Those windows need cleaning.*  
 = *Those windows need to be cleaned.*  
 cf. **need to do** 「～する必要がある」
8. 「昨晚遅くまで起きていなければ、今朝、私たちはこんなに疲れていないだろう」
- ▶ 「もし～だったら、今は…だろう」で、条件節が過去完了形、主節が過去形になる構文。意味上、(A)ではなく(C)が入る。
  - **stay up** 「(寝ないで)起きている」 (= sit up)  
*I would like to eat out and stay up late tonight.*  
 (私は今晩外食をして、夜遅くまで起きていたい。)
  - ▶ sit upはstay upより堅い言い方。
9. 「私は映画を観に行きたかったけど、家で勉強することに決めた」
- ▶ 難問。他の選択肢がいずれもここでは不適なので、消去法で正解したい。正解は(B)のas much as ~で、**讓歩節**を導き「(大いに)～ではあるが」の意。同じくasを用いた、形容詞+as+S+V, … 「～(形容詞)ではあるが…」〔讓歩〕の構文もこれと同じ原理で、つまりはas much as=(al)thoughである。
- **as much as ...の用法**

(1) …と同量の、同額の  
*Take as much as you want.* (欲しいだけとりなさい)

(2) [多さを強調して]…ほども多く  
*pay as much as 100 dollars for the shirt* (そのシャツに100ドルも払う)

(3) [讓歩節を導いて](とても)…だけれども  
 ▶ 最初のasはしばしば省略される。  
*(As) much as he wanted it, he couldn't bring himself to ask for it.*  
 (彼は欲しかったけれど、欲しいと言いだせなかった。)
10. 「私はもう煙草を吸わないことを嬉しく思っています。来月、私が喫煙を止めて10年になります」
- ▶ next monthとあることから、未来完了形の(C)が正解。
11. 「学校から私の家に帰るのに、最も乗り換えの少ないルートは16番のバスだ」
- ▶ mostがついて最上級になるのは(C)のみ。他の選択肢はすべて-estをつけて最上級

を作る。

- (A)close-closer-closest, (B)fast-faster-fastest, (D)near-nearer-nearest

12. 「君がテニストーナメントで優勝したら、スピーチをしなければならないでしょう」

- give[make, deliver] a speechで「スピーチをする」の意。

- give[make, deliver] a speech「スピーチをする」

The prime minister made a speech on national defense.

(首相は国防に関する演説をした。)

13. 「トムがオレンジジュースを全部飲んでしまったことは明らかだ。なぜなら、彼はそのとき家にいた唯一の人間だからだ」

- 形容詞の限定用法で「唯一の」という意味で使えるのは(D)onlyのみ。(B)justは「だけ」という意味では副詞。形容詞では「正当な」という意味。(C)aloneは叙述用法でしか使えない形容詞。(A)sureは限定用法で「信頼できる、しっかりした」という意味で文意に合わないの不適。

14. 「警察は泥棒たちがどうやってその住居に侵入したのか捜査中だ」

- break into the house「家に押しに入る」thief「泥棒」thievesは複数形。

- break into ~「～に押しに入る/～に侵入する」

The house was broken into last night. [受身形]

(その家に昨夜泥棒が入った。)

- break into ~には「急に～にし始める」(= burst into)の意味もある。

She broke into laughter[a run/tears].

(彼女は急に笑い[走り/泣き]出した)

15. 「君がそんなに長い間、雨の中で待ち続けていたとは考えもつかなかった」

- occur to ~「(考えなどが)ふと～の心に浮かぶ」(= strike)

It never occurred to me that he had done it.

(彼がそれをしたとは私には考えもつかなかった。)

- It occurs to A that節「～という考えがA(人)の心に浮かぶ」

- hit on[upon] ~「～を思いつく/～を考えつく」〔人が主語〕

A good idea occurred to me. = A good idea struck me.

= I hit on a good idea. (私に名案が浮かんだ)

16. 「私は彼が言った言葉を全てを聞き取れなかつたが、最近の選挙にいくらか関係があつたのだろうと思った」

- have something to do with ~「～と何らかの関わりがある」平叙文なので(B)anythingは不適。

- have nothing to do with ~「～と何の関係もない」

It has nothing to do with what you're worried about.

(それは、君が心配していることと何の関係もない。)

- haveの次にnothing「何の」/something「いくらか」/much[a lot]「大いに」/little「ほとんどない」などを入れて関係の程度を表すことができる。

17. 「ほんの3日の間で、私の息子は車の運転を覚えた」

- in the course of ~で「～の間に」の意。1語で表現すればduringである。

- in[over] the course of ~「～の間[うち]に」(= during ~)

go to London in the course of one's travel(旅行中にロンドンを訪れる)

18. 「大学構内にある壊れたベンチは、昨日新しいものに置き換えられた」

- replace A with B「AをBと取り替える」の受動態。onesはbenchesを受ける

- (B)repair「～を修理する」,(C)removed「～を取り去る」,(D)reform「～を改善する」

- replace A with B「AをBと取り替える」

They replaced the man's sick liver with a part of his son's liver.

(彼らはその男性の病んだ肝臓を男性の息子の肝臓の一部と取り替えた。)

19. 「サトシは怒っていた。なぜなら私が彼の日記を読んでいるところを見つけたからだ」

□ **catch A doing** 「Aが～していることころを見つける」

▶ この形ではcatchは「見つける」の意味。

*The teacher caught the student sleeping in class.*

(先生はその学生が授業中に眠っているところを見つけた。)

20. 「息子が宿題のことで先生に嘘をついていたことを知った時、私はとても恥ずかしかった」

▶ **be ashamed of** ~ 「～を恥じている」他の選択肢はofとつながらない。

□ **be ashamed of** ~ 「～を恥じている」

*I am ashamed of my son being late so often.*

(私は息子がたびたび遅刻するのを恥ずかしく思っている。)

▶ **be ashamed to do** 「恥ずかしくて～できない[したくない]」

*I was ashamed to say that I had made a mistake.*

(恥ずかしくて自分がミスをしたとは言えなかった)